

(例) 中学校 → 特別支援学校 (高等部) の場合

支援シート I これまでの支援これからの支援

ふりがな 氏 名	所属機関	記入日	相談メンバー
かながわ けんたろう 神奈川 健太郎	〇〇中学校 ↓ 〇〇支援学校	令和2年 1月23日	担任 (●●● □□□) 保護者 (◎◎◎)

*記入者には○印をつける

	項 目	内 容
これまでの取組	所属機関	・読み書き計算などはゆっくりである。言葉かけや具体的に説明することで小学校3年生程度の国語や算数に取り組んでいる。(学習) ・学級や大きな集団だと一齐指示を理解することは難しいが、少人数や一対一であれば、ある程度は理解することが可能である。(会話について) ・緊張感が強く、たびたび腹痛を起こすことがあるが、教室等で一人になることで心の安定が図ることができる。(人間関係・コミュニケーション) ・自分の興味関心のあること(鉄道など)であれば、積極的に会話ができる。 ・事前に指示をすることで、見通しが持てる。(落ち着いた生活)
	家庭生活	・着替え、トイレなど一人でできる。(身辺自立) ・家庭でも、お手伝いなど事前に約束をしておくことでできる。(家庭生活) ・家庭で過ごす際は、突然の予定が入ると、落ち着かなくなる。落ち着かなかった場合は自分の部屋で一人にすることで切り替えて過ごすこともある。(家庭生活での課題)
	余暇・地域生活	・余暇は、プールで水泳を習っており、一人で行くことができる。(地域) ・時間があるときは、音楽を聴いたり、動画サイトを見たりする。(余暇)
	健康・安全・相談	・自分の怪我や病気について、痛い等自分から伝えることが難しい。(健康) ・困ったときに相談することは難しいが、言葉かけがあることで、困っていることを伝えることができることもある。(困ったときの対応)

これまでの取組の評価	・学習面 ・コミュニケーション ・生活面 (実態に応じた内容を記載)	これまでの取組の評価を本人の特性に応じて記入する。 (有効な支援方法が具体的に記載され、これからの計画に繋がる内容等を記載)
------------	---	---

これからの計画	これからの方針	
	所属機関	
	家庭生活	
	余暇・地域生活 卒業後の生活	
	健康・安全・相談	

